



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月8日

上場会社名 株式会社立花エレテック 上場取引所 東
 コード番号 8159 URL <http://www.tachibana.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡邊武雄
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営戦略室長 (氏名) 松浦良典 (TEL) 06-6539-2718
 四半期報告書提出予定日 2019年11月13日 配当支払開始予定日 2019年12月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	83,833	△7.1	3,021	△6.4	3,157	△11.7	2,242	△7.6
2019年3月期第2四半期	90,224	8.8	3,227	18.2	3,577	22.8	2,427	21.3

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 1,620百万円(△9.6%) 2019年3月期第2四半期 1,793百万円(△49.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	88.84	—
2019年3月期第2四半期	96.18	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	111,159	68,931	62.0
2019年3月期	121,170	67,916	56.1

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 68,931百万円 2019年3月期 67,916百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	24.00	—	24.00	48.00
2020年3月期	—	24.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	24.00	48.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	183,000	0.1	6,720	1.9	7,060	0.4	4,860	△0.9	192.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	26,025,242株	2019年3月期	26,025,242株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	787,137株	2019年3月期	786,985株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	25,238,142株	2019年3月期2Q	25,238,414株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・当社は、2019年12月2日（月）に機関投資家及び証券アナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明資料は、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間は、米中貿易摩擦の長期化で中国市場が大きく落ち込む中、国内経済においても景気の減速感が高まってまいりました。

このような市況下で、主力2事業のFAシステム事業、半導体デバイス事業が影響を受けました。FAシステム事業は電子部品需要の減退に伴い、半導体・液晶製造装置関連、電子機器組立関連の設備投資が冷え込んだ影響を受けました。半導体デバイス事業も同様の背景から低調に推移いたしましたが、施設事業はオリンピック関連、物流施設・ホテルなど増加する新築、再開発案件を取り込んで伸ばいたしました。また、子会社については、海外子会社は米中貿易摩擦の影響を受けて、特に中国、香港において減収、国内子会社においても設備投資停滞による影響が出てまいりました。

このような状況下にあつて、当社企業グループは将来を見据えた取組みである中長期経営計画「C.C.J2200」の仕上げに向けて、人材確保などの先行投資を継続するとともに、AI・IoT時代における製造現場の生産性向上ニーズに応えるべくグループ各社の技術を結集し、ロボットを含む製造ラインや設備機械を機能的に連動させるM2Mビジネスを強力に推進してまいりましたが、景気停滞の背景により当第2四半期の業績に大きく貢献するまでには至りませんでした。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高838億33百万円（前年同期比7.1%減）、営業利益30億21百万円（前年同期比6.4%減）、経常利益31億57百万円（前年同期比11.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は22億42百万円（前年同期比7.6%減）となりました。

なお本年9月、半導体デバイス事業の更なる収益力の強化を目的として、八洲電機株式会社と同子会社八洲電子ソリューションズ株式会社の全株式の譲渡を受ける基本合意書を締結いたしております。

セグメント別については以下のとおりであります。

〔FAシステム事業〕

売上高:489億13百万円（前年同期比7.4%減）、営業利益:21億44百万円（前年同期比6.9%減）

FAシステム事業は、前年にあった大ロプラント案件の影響により、前年同期に比べて重電が減少いたしました。FA機器分野では国内建設需要の好調を受けて配電制御機器は堅調に推移いたしましたが、半導体製造装置、電子機器組立て関連が冷え込み、セットメーカーの設備投資が大きく低迷したことにより、プログラマブルコントローラー、インバーターが低調に推移、産業機械分野のレーザー加工機及び製造ライン向け自動化設備も減少いたしました。産業デバイスコンポーネント分野では、タッチパネルモニター及びPC周辺装置・ネットワーク機器が伸ばいたしました。

その結果、当事業全体の売上高は、前年同期比7.4%の減少となりました。

〔半導体デバイス事業〕

売上高:239億30百万円（前年同期比13.6%減）、営業利益:6億22百万円（前年同期比31.5%減）

半導体デバイス事業は、米中貿易摩擦の影響で中国市場における電子部品需要の落ち込みが、海外子会社に影響を与え、特に中国、香港が苦戦し、国内でも半導体分野のマイコン、ロジックIC及びパワーモジュールなどの主力製品が減少いたしました。また、電子デバイス分野においては、液晶パネルやメモリーカードは大きく減少いたしました。昨今の安全運転面での需要からドライブレコーダー向けに搭載されるメモリーモジュールは伸ばいたしました。

その結果、当事業全体の売上高は、前年同期比13.6%の減少となりました。

〔施設事業〕

売上高:85億98百万円（前年同期比12.9%増）、営業利益:2億50百万円（前年同期比594.4%増）

施設事業は、首都圏では再開発案件や物流施設、関西では病院施設やインバウンドによるホテル需要が増加する中、要員の先行投資による対応力の面で成果が現れ、業績は拡大いたしました。

店舗・設備用パッケージエアコン、ビル用マルチエアコンなどの空調機器、エコキュートおよび受配電設備、

監視制御設備が伸長し、全社をあげて拡販に取り組んできたLED照明も好調に推移いたしました。

その結果、当事業全体の売上高は、前年同期比12.9%の増加となりました。

〔その他〕

売上高:23億90百万円(前年同期比15.9%増)、営業利益:4百万円(前年同期は21百万円の損失)

MMS分野は部材加工品が大きく伸長し、中でも立体駐車場向け金属部材及び流通向けラックビジネスが大きく寄与いたしました。EMS分野は、プラットフォーム可動柵の案件が好調に推移いたしました。

その結果、その他事業全体の売上高は、前年同期比15.9%の増加となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、1,111億59百万円となり、前連結会計年度末に比べ100億11百万円減少いたしました。

流動資産は、868億19百万円となり、前連結会計年度末に比べ96億50百万円減少いたしました。この主な要因は、現金及び預金の減少5億82百万円、受取手形及び売掛金の減少94億7百万円であります。

固定資産は、243億39百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億60百万円減少いたしました。この主な要因は、投資有価証券の減少4億49百万円であります。

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、422億27百万円となり、前連結会計年度末に比べ110億25百万円減少いたしました。

流動負債は、402億1百万円となり、前連結会計年度末に比べ106億71百万円減少いたしました。この主な要因は、支払手形及び買掛金の減少95億88百万円、短期借入金の減少3億80百万円であります。

固定負債は、20億26百万円となり前連結会計年度末に比べ3億53百万円減少いたしました。

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、689億31百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億14百万円増加いたしました。この主な要因は、利益剰余金の増加16億36百万円、その他有価証券評価差額金の減少4億63百万円であります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の四半期末残高は、115億82百万円となり前連結会計年度末に比べ20億55百万円減少いたしました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、7億36百万円の収入(前年同期は15億6百万円の収入)となりました。主な内容は税金等調整前四半期純利益32億48百万円、売上債権の減少額94億69百万円などの増加と仕入債務の減少額96億52百万円、法人税等の支払額12億31百万円などの減少であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、17億7百万円の支出(前年同期は6億55百万円の支出)となりました。主な内容は定期預金の増加による支出15億6百万円などであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、9億98百万円の支出(前年同期は6億3百万円の支出)となりました。主な内容は配当金の支払額による支出6億5百万円などであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年5月14日に公表いたしました業績予想を据え置いております。

なお、業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,167	14,585
受取手形及び売掛金	65,682	56,275
有価証券	200	—
たな卸資産	13,373	13,744
その他	2,107	2,269
貸倒引当金	△61	△54
流動資産合計	96,470	86,819
固定資産		
有形固定資産	5,219	5,321
無形固定資産	258	357
投資その他の資産		
投資有価証券	18,178	17,728
その他	1,124	1,018
貸倒引当金	△80	△86
投資その他の資産合計	19,221	18,660
固定資産合計	24,699	24,339
資産合計	121,170	111,159
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	42,548	32,960
短期借入金	1,949	1,568
未払法人税等	1,317	1,089
賞与引当金	1,436	1,148
その他	3,621	3,433
流動負債合計	50,873	40,201
固定負債		
長期借入金	83	77
退職給付に係る負債	227	195
その他	2,070	1,753
固定負債合計	2,380	2,026
負債合計	53,253	42,227

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,874	5,874
資本剰余金	6,999	6,999
利益剰余金	50,417	52,053
自己株式	△893	△893
株主資本合計	62,397	64,033
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,913	4,450
繰延ヘッジ損益	0	△4
為替換算調整勘定	215	92
退職給付に係る調整累計額	390	358
その他の包括利益累計額合計	5,519	4,897
純資産合計	67,916	68,931
負債純資産合計	121,170	111,159

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	90,224	83,833
売上原価	78,146	72,301
売上総利益	12,077	11,531
販売費及び一般管理費	8,849	8,510
営業利益	3,227	3,021
営業外収益		
受取利息	57	59
受取配当金	192	181
為替差益	144	—
その他	97	85
営業外収益合計	491	326
営業外費用		
支払利息	11	10
為替差損	—	76
売上割引	96	90
その他	32	13
営業外費用合計	141	191
経常利益	3,577	3,157
特別利益		
投資有価証券売却益	—	90
特別利益合計	—	90
税金等調整前四半期純利益	3,577	3,248
法人税等	1,110	1,005
四半期純利益	2,467	2,242
非支配株主に帰属する四半期純利益	39	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,427	2,242

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	2,467	2,242
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△510	△463
繰延ヘッジ損益	24	△4
為替換算調整勘定	△141	△122
退職給付に係る調整額	△46	△31
その他の包括利益合計	△674	△621
四半期包括利益	1,793	1,620
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,753	1,620
非支配株主に係る四半期包括利益	39	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,577	3,248
減価償却費	185	182
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3	△0
受取利息及び受取配当金	△249	△240
支払利息	11	10
為替差損益 (△は益)	△41	22
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△90
売上債権の増減額 (△は増加)	2,189	9,469
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△926	△412
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,104	△9,652
その他	△139	△810
小計	2,497	1,725
利息及び配当金の受取額	268	253
利息の支払額	△11	△10
法人税等の支払額	△1,249	△1,231
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,506	736
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	△655	△1,506
有形固定資産の取得による支出	△135	△174
有形固定資産の売却による収入	17	1
投資有価証券の取得による支出	△317	△219
投資有価証券の売却による収入	—	90
有価証券の償還による収入	200	200
投資有価証券の償還による収入	100	—
その他	135	△99
投資活動によるキャッシュ・フロー	△655	△1,707
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	20	△380
長期借入金の返済による支出	△56	△6
長期借入れによる収入	50	—
自己株式の純増減額 (△は増加)	△0	△0
配当金の支払額	△604	△605
非支配株主への配当金の支払額	△7	—
その他	△5	△6
財務活動によるキャッシュ・フロー	△603	△998
現金及び現金同等物に係る換算差額	△44	△85
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	202	△2,055
現金及び現金同等物の期首残高	13,274	13,638
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,477	11,582

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	FAシステム 事業	半導体デバ イス事業	施設事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	52,847	27,697	7,616	88,161	2,062	90,224	—	90,224
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	52,847	27,697	7,616	88,161	2,062	90,224	—	90,224
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は営業損失(△))	2,304	908	36	3,248	△21	3,227	—	3,227

(注) 「その他」の内容は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「MS事業」を含んでおります。

当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	FAシステム 事業	半導体デバ イス事業	施設事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	48,913	23,930	8,598	81,442	2,390	83,833	—	83,833
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	48,913	23,930	8,598	81,442	2,390	83,833	—	83,833
セグメント利益(営業利益)	2,144	622	250	3,017	4	3,021	—	3,021

(注) 「その他」の内容は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「MS事業」を含んでおります。